

令和元年度 香取市市民事業仕分けの実施について

「香取市市民事業仕分け」の目的

- 厳しい財政状況の中、事業の**必要性や公共性・費用対効果**などについて、既存事業の**検証・見直し**を行う
- **公開の場で、外部の視点による公平・客観的な評価を市民参加で行う**
- 事業の**目的や本質を明確化**し、行財政改革の推進を図るとともに、事業に対する**市民への説明責任の徹底**や**職員の意識改革**を図る

評価対象事業・規模

総合計画に位置付けられた**実施計画事業**をベースに、**対象事業を選定**する。

- 令和元年度も、**36事業**で実施予定。
- 会場は、香取市役所本庁舎内
- 1日3会場で2日間 → 1日1会場あたり 6事業
- 1会場当たり人的規模 ・コーディネーター 1名 ・外部仕分け人 4名
・市民判定人 約20名を想定 ・傍聴人

仕分け作業の流れ

事業説明

説明者（香取市職員）が事業概要を説明。

- 事業の趣旨・目的、事業内容（目標、期限等を含む）、成果、課題など

質疑議論

外部仕分け人から説明者に対し、仕分けの判断材料としての質問、議論。

- 目的の是非、達成手段としての妥当性、事業の効果・効率性、実施主体の適否など

評価

外部仕分け人の議論を聞きながら、市民判定人は「評価シート（3ページ参照）」に各自の結論、意見等を記入。

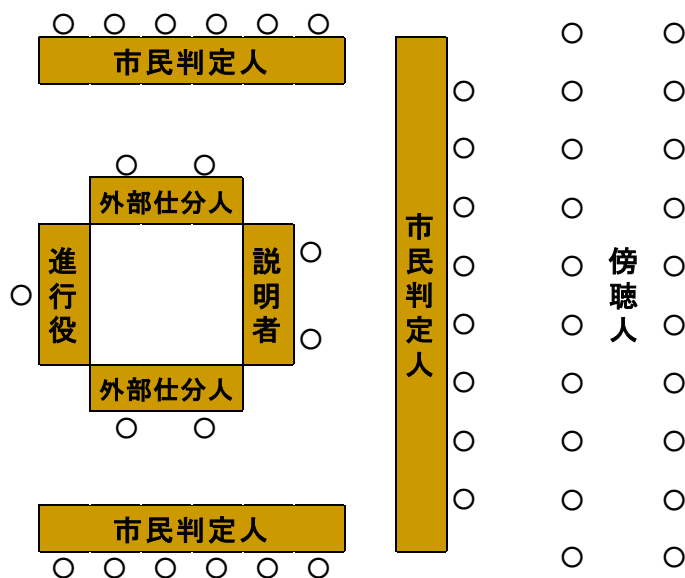
外部仕分け人も、同様に結論、意見等を記入。

結果解説

結果は市民判定人の多数決で！

外部仕分け人の結論も公表するが、**市民判定人による投票結果を優先**させる。

会場イメージ



対象事業について、担当職員がその概要について説明を行い、担当職員と外部仕分け人との間で、質疑応答を繰り返す。

市民判定人の方には、その説明や議論を聞きながら、「そもそもこの事業は必要なのか？」「事業内容を見直すべきでは？」などを判断していただき、その集計したものを判定結果として決定。

判定結果については、真摯に受け止め、市の対応を検討のうえ事業に反映。

評価シート（イメージ）

評価シート

事業番号	1	事業名	バス路線運行事業		
------	---	-----	----------	--	--

現在の事業	行政の関与が必要か？	誰がやるべき	手法は適正か？	評価結果	評価理由(例)
	↓ いずれかに「○」をつけてください				
	税金を使わない／使うかどうか 白紙検討			不要・凍結	手段が目的化していると思われる 達成手段として不適当 効果なし(薄い)・逆効果 サービス受給者の自助努力・自己負担 行政の役割終了、民間実施（税投入の必要なし） 他事業との重複
	税金を使う	国・県・広域が実施		国・県・広域	規模が全国的 全国一律のサービスであるべき 規模が広域的 広域での一律のサービスであるべき 影響が広範囲
		市が実施	事業内容見直し	要改善	事業の手法、内容に改善の余地あり 民間委託の実施・拡大をすべき 指定管理者制度を導入すべき 入札等における競争性を強化すべき 自主財源確保(受益者負担等)をすべき
		事業内容現行通り	現行通り・拡充	現状では見直しが困難 大幅な見直しは必要ない	

特記事項(選択の理由、改善内容、その他意見等)

主なスケジュール等

8月 1日 無作為抽出者への参加意向確認

8月19日 対象事業担当課向け研修

8月20日 香取市議会全員協議会（実施事業説明）

9月29日 市民判定人 事前研修（午前・午後の2部制）

市民判定人

※無作為抽出（2,000人）で選ばれた18歳以上の市民に案内を送り、その中から応募のあった市民を「市民判定人」（120人程度を想定）（**公募型市民判定人方式**）とする。

（主な研修内容）

- 香取市の財政状況（これまで と これから）
- 事業仕分けの意義と概要（議論の流れ、配付資料の解説 等）
- 模擬事業仕分け
- 質疑応答

10月 1日 広報かとり10月1日号（実施のお知らせ）

10月10日 市民判定人へ資料の事前配布

10月19日（土）、20日（日） 事業仕分けの開催

事業仕分けの実施体制（1会場あたり）

コーディネーター	1名	}	いずれも構想日本から派遣
外部仕分け人	4名		
市民判定人	20名程度を想定		

■ 委託業者：一般社団法人 構想日本（非営利の政策シンクタンク）

県内においては、千葉県および11市において事業仕分けを実施

事業仕分けの公開

- すべて公開で実施
- 事前の傍聴申込は不要で、会場の出入りも自由
- 501会議室会場については、インターネット中継を予定
- その他の会場についても、録画により後日公開
- 判定結果や対応方針について、市ホームページ等で公開

事業仕分け終了後の主な流れ

10月19日（土）、20日（日） 事業仕分け

10月21日 結果公表（市ホームページ）

令和2年度当初予算編成作業

11月～ 市民判定人の評価を踏まえ
対応方針（案）を作成

令和2年度当初予算編成（案）に反映

2月 3月市議会定例会へ令和2年度予算（案）提案
事業仕分け評価結果の反映状況公表

令和元年度 香取市市民事業仕分け評価結果及び対応方針について

令和元年度 事業仕分け評価結果

不要・凍結 **2事業**、 要改善 **26事業**、 現行通り・拡充 **8事業** 計 **36事業**



「観光施設等管理事業」、「小見川ふれあいセンター管理運営事業」

対応方針（総論）

令和2年度仕分け効果額 ▲ 10,766千円

- 「不要・凍結」と評価された事業については、最低限の施設管理を除き
2020（令和2）年度に終了

2事業 ▲ 2,530千円

- 「要改善」「現行通り・拡充」と評価された34事業のうち、事業を見直し、2020（令和2）年度当初予算に反映させた事業（効果額として表れた事業）
詳細は、次ページ以降

増額 4事業 2,248千円

減額 9事業 ▲ 10,484千円

- その他の事業についても、制度の見直し等を2020（令和2）年度中に実施
- 3月下旬以降、事業仕分け評価結果の反映状況公表（予定）

各事業の評価結果、令和2年度仕分け効果額一覧表

ページ	事業名	評価結果	R2効果額 (千円)
3	機能訓練拠点施設維持管理事業	要改善	▲ 315
4	高齢者等入院時おむつ代助成事業	現行通り・拡充	
5	生活支援体制整備事業	現行通り・拡充	
6	小見川社会福祉センター(さくら館)運営事業	要改善	
7	がん検診事業	現行通り・拡充	▲ 342
8	成人保健事業	要改善	▲ 96
9	短期人間ドック助成事業	要改善	▲ 7,900
10	商業活性化支援事業	要改善	▲ 700
11	中小企業資金融資事業	要改善	
12	観光施設等管理事業	不要・凍結	▲ 1,937
13	小見川ふれあいセンター管理運営事業	不要・凍結	▲ 593
14	合併処理浄化槽設置推進事業	要改善	
15	学校給食事業	要改善	
16	中学校国際交流事業	要改善	
17	特別支援教育支援事業	要改善	
18	公園維持管理事業	現行通り・拡充	
19	空き家対策事業	現行通り・拡充	
20	木造住宅耐震改修等助成事業	要改善	300

ページ	事業名	評価結果	R2効果額 (千円)
21	ふるさと農園運営事業	要改善	▲ 24
22	農業振興資金利子補給事業	現行通り・拡充	
23	農業後継者新規就農助成事業	要改善	600
24	農産物防除対策事業	要改善	
25	児童館運営事業	要改善	▲ 177
26	こども園運営事業	現行通り・拡充	
27	コミュニティ育成事業	要改善	
28	水上スポーツ大会等開催事業	要改善	1,280
29	スポーツ・コミュニティセンター管理運営事業	要改善	
30	生涯学習振興事業(家庭・学校・地域連携推進事業)	要改善	
31	伊能忠敬記念館管理運営事業	現行通り・拡充	▲ 150
32	地籍調査事業	要改善	
33	バス路線運行事業	要改善	
34	循環バス運行事業	要改善	
35	乗合タクシー運行事業	要改善	68
36	生活環境整備事業	要改善	▲ 780
37	ごみ処理施設運営事業	要改善	
38	塵芥処理事業	要改善	
合 計			▲ 10,766

各事業の対応方針

事業名（担当課）	バス路線運行事業（企画政策課）			
市民判定人の 評価結果	不要・凍結	国・県・広域	要改善	現行通り・拡充
	1	0	15	3
市民判定人の 主な評価内容	評価に対する方針	今後の取組スケジュール（令和2年1月現在） 令和2年度当初予算における効果額（千円）		
		2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
- 高速バスの市内乗降ができるよう取り組み、重複する路線は集約 - 高齢化が進む今後、バスは重要性が増す乗り物。ルートやダイヤを見直すなど、存続の努力をして欲しい - 循環バスとの整合を図り、路線の見直しや廃止が必要 - スクールバスの空き時間を活用できないか	令和元年度策定の「香取市地域公共交通網形成計画」に従い、持続可能な公共交通体系の構築を進める - 既存高速バスの一般乗降化（半クローズ解除） - 市民・来訪者の移動ニーズに対応した路線バスの再編 - スクールバスの有効活用	➤ 内容検討、協議・調整	➤ 運行実施	
		➤ 再編内容検討		➤ 運行実施（順次）
		➤ 検討、協議・調整		

各事業の対応方針

事業名（担当課）	循環バス運行事業（企画政策課）			
市民判定人の 評価結果	不要・凍結	国・県・広域	要改善	現行通り・拡充
	0	0	18	1

市民判定人の 主な評価内容	評価に対する方針	今後の取組スケジュール（令和2年1月現在） 令和2年度当初予算における効果額（千円）		
		2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
- 路線バスより低い料金設定（栗源は無料）を改定すべき - 受益者負担増 - 利用者の分析やアンケートを行い、路線バスも含め、路線やバス停、運行本数の見直しをすべき - 旧市町を越えた公共交通網を構築 - スクールバスの空き時間を活用	令和元年度策定の「香取市地域公共交通網形成計画」に従い、持続可能な公共交通体系の構築を進める - 運賃の見直し - 既存循環バス・ワゴンの再編 - スクールバスの有効活用（再掲）	➤ 運賃見直し（順次改定） ➤ 再編内容検討 ➤ 検討、協議・調整	 	➤ 運行実施（順次） 

各事業の対応方針

事業名（担当課）	乗合タクシー運行事業（企画政策課）			
市民判定人の 評価結果	不要・凍結	国・県・広域	要改善	現行通り・拡充
	2	0	15	2

市民判定人の 主な評価内容	評価に対する方針	今後の取組スケジュール（令和2年1月現在） 令和2年度当初予算における効果額（千円）		
		2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
- 利用者一人あたりに要する市の負担が高額すぎる - 運賃見直しが必要 - 一部の地域だけでなく、利用区域を拡大すべき - 他の地区との整合性をとる必要がある。道路事情に合った車両による循環バスに変更してはどうか	令和元年度策定の「香取市地域公共交通網形成計画」に従い、持続可能な公共交通体系の構築を進める - 運賃の見直し - 乗合タクシーの再編	➤ 運賃見直し（改定） 68 ➤ あり方の検討	➤ 運行実施	利用登録者郵便代（運賃改定通知） 0千円→ 68千円

効果額 68